

第5期科学技術基本計画の 進捗状況を把握するための 指標について

指標の基本的位置付け

第5期基本計画をエビデンスに基づき適切にフォローアップするための基礎資料として、文部科学省として5年間注視する指標を継続的に収集。第5期基本計画の政策－施策体系を強く意識した上で、政策領域毎に、総合政策特別委員会と各担当分科会等が連携して指標の収集を進める。本年中を目途に一旦「重要指標群」として取りまとめるとともに、その後も5年間を通じて、柔軟に追加・見直しを図る。

①第4章(俯瞰マップ7～11)、第5章(俯瞰マップ12～15)、第6章(俯瞰マップ16)について

- ✓ 第5期基本計画の政策－施策体系に基づきフォローアップを実施することが文部科学省(総政特)として重要。
- ✓ 総政特において、政策領域(俯瞰マップ)毎に、当該領域の政策・施策・個別取組等を企画・立案・評価する上で必要となる指標を、関係分科会等と連携しながら収集・整備。その際、「状況」を明らかにする調査(科学技術研究調査等)と、「意識変化」を明らかにする調査(NISTEP定点調査等)等を適切に組み合わせていく。

②第2章(俯瞰マップ1、2)、第3章(俯瞰マップ3～6)について

- ✓ 第5期基本計画の政策－施策体系に基づくフォローアップを文部科学省だけで実施することは困難。現在、研究計画・評価分科会において、文部科学省として今後5年間重点的に進めていくべき研究開発取組等を記載した「研究開発計画」を策定中であり、当該計画の策定作業を進める中で、指標の在り方について検討していくことを予定。(→資料1－10に詳細)また、海洋分科会においても研究開発計画の策定に向けた作業を予定。
- ✓ ただし、第2章(超スマート社会等)の研究開発を除く部分については、個別分科会等だけでは十分にフォローアップできないことから、総政特において、上記①と同様の手法で指標を収集。

③第7章(俯瞰マップ17、18)について

- ✓ 第7章(1)及び(2)は、第2～6章の記載内容の実行主体たる大学及び国立研究開発法人に求められる取組の整理、(4)は、政策推進を担う行政の取組の整理であることから、指標ではなく、基本計画に記載された取組の実施状況を把握することがまずは重要。(3)及び(5)は他の俯瞰マップに統合し、指標を収集。)

以上の考え方の下、第5期基本計画のうち、★部分の俯瞰マップについて指標群(案)を試作。

第2章 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組

- (1) 未来に果敢に挑戦する研究開発と人材の強化 **マップ1★**
- (2) 世界に先駆けた「超スマート社会」の実現、
- (3) 「超スマート社会」における競争力強化と基盤技術の強化 **マップ2★**

第3章 経済・社会的課題への対応

- (1) 持続的な成長と地域社会の自律的な発展 **マップ3**
- (2) 国及び国民の安全・安心の確保と豊かで質の高い生活の実現 **マップ4**
- (3) 地球規模課題への対応と世界の発展への貢献 **マップ5**
- (4) 国家戦略上重要なフロンティアの開拓 **マップ6**

第4章 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化

- (1) 人材力の強化
 - ① 知的プロフェッショナルとしての人材の育成・確保と活躍促進 **マップ7★**
 - ② 人材の多様性確保と流動化の促進 **マップ8★**
- (2) 知の基盤の強化
 - ① イノベーションの源泉としての学術研究と基礎研究の推進 **マップ9★**
 - ② 研究開発活動を支える共通基盤技術、施設・設備、情報基盤の戦略的強化 **マップ10★**
 - ③ オープンサイエンスの推進
- (3) 資金改革の強化 **マップ11★**

第5章 イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築

- (1) オープンイノベーションを推進する仕組みの強化 **マップ12★**
- (2) 新規事業に挑戦する中小・ベンチャー企業の創出強化 **マップ13★**
- (3) 国際的な知的財産・標準化の戦略的活用
- (4) イノベーション創出に向けた制度の見直しと整備 **マップ14★**
- (5) 「地方創生」に資するイノベーションシステムの構築 **マップ15★**
- (6) グローバルなニーズを先取りしたイノベーション創出機会の開拓

第6章 科学技術イノベーションと社会との関係深化 **マップ16★**

第7章 科学技術イノベーションの推進機能の強化

- (1) 大学改革と機能強化 **マップ17**
- (2) 国立研究開発法人改革と機能強化 **マップ17**
- (3) 科学技術イノベーション政策の戦略的国際展開 ※マップ15と統合
- (4) 実効性ある科学技術イノベーション政策の推進と司令塔機能の強化 **マップ18**
- (5) 未来に向けた研究開発投資の確保 ※マップ11と統合

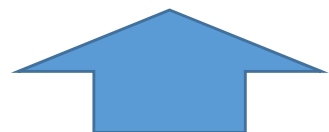
具体的には、各マップの政策－施策体系に沿って、現時点において定量かつ定期的に取得でき得る指標をまずは収集。加えて、基本計画の進捗状況を把握するために重要であると思われるが、現時点で適切に取得できていない指標についても一部例示。

各政策領域における 指標群（案）について

俯瞰マップ1 未来に挑戦する研究開発強化

【目的】 ゲームチェンジを誘発する、非連続なイノベーションの創出機会の拡大

◆ 画期的な価値（非連続なイノベーション）の創出



知から価値への転換
（社会実装）

○ベンチャー企業の活躍促進
※第5章（2）の取組

◆ 非連続なイノベーションの種となる新たな知識や技術の創出



●非連続的なイノベーションを目的とした政府研究開発プログラム
（数/金額/応募者数/支援される研究者数）

◆ 失敗を恐れず高いハードルに果敢に挑戦する営みの拡大

○アイデア試行機会提供

研究開発の仕掛け

- ・アイデアの斬新さを重視
- ・経済・社会的インパクトを重視

人材

- ・創造的なアイデアを持つ人材
- ・アイデアを実装する行動力を持つ人材

効果的なプロジェクトの運営管理を実施できる人材

○育成・確保

●プログラム・マネージャー育成・活躍
推進プログラムの修了者の人数

○次に活用する仕組み



失敗



○チャレンジングな研究開発
推進手法の普及拡大

基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

- 非連続なイノベーションを目的とした
政府研究開発プログラム
(数/金額/応募者数/支援される研究者数)

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

- プログラム・マネージャー育成・活躍推進
プログラムの修了者の人数
- 非連続なイノベーションを目的とした
政府研究開発プログラム
(数/金額/応募者数/支援される研究者数)

俯瞰マップ2 「超スマート社会」の実現

【目的】 世界に先駆けた「超スマート社会」の実現

● 現状データなし

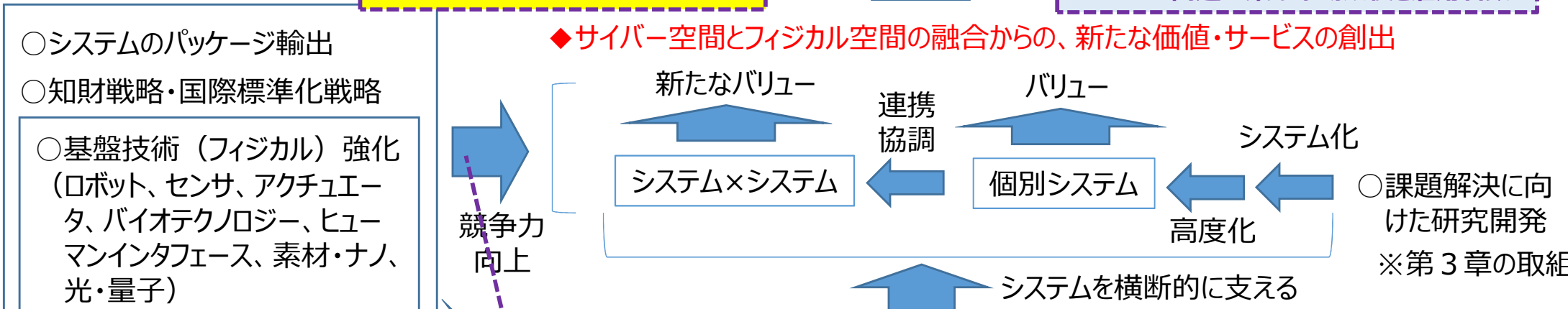
◆ 超スマート社会の実現

(供給側視点) ・必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、様々なニーズにきめ細かく対応
 (需要側視点) ・年齢、性別、言語等の違いを乗り越え、あらゆる人が質の高いサービスを楽しみ、生き生きと快適に暮らす

● IT関連企業のベンチャー起業数

● ICT関連産業の市場規模と雇用者数

◆ サイバー空間とフィジカル空間の融合からの、新たな価値・サービスの創出



- システムのパッケージ輸出
- 知財戦略・国際標準化戦略
- 基盤技術（フィジカル）強化
 (ロボット、センサ、アクチュエータ、バイオテクノロジー、ヒューマンインタフェース、素材・ナノ、光・量子)

競争力向上

○ 課題解決に向けた研究開発
 ※ 第3章の取組

○ 戦略的強化

● ICT分野の知財、論文

◆ 超スマート社会サービスプラットフォームの構築

- インターフェース・データフォーマット標準化
- セキュリティの高度化・社会実装
- 標準的データの活用（システム間の連携）
- システムの大規模化・複雑化への対応
- 社会計測機能の強化
- ELSI強化、新サービス向けの規制・制度改革

競争力向上

● 情報処理技術者試験合格者の統計情報

- 情報系専攻の大学等学生数（自然科学）
- データサイエンティスト人材の育成・確保の状況
- サイバーセキュリティ人材の育成・確保の状況

○ 人材の強化

● IT技術者数

- ・ 研究開発人材（各技術）
- ・ PFを活用
- ・ データ解析、プログラミング知識を持ちデータ等を課題発見・解決に活用する人材

基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

○ICT関連産業の市場規模と雇用者数

○ICT分野の知財、論文、標準化

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

○ICT分野の知財、論文

○IT技術者数

○情報処理技術者試験合格者の統計情報

○ICT関連産業の市場規模と雇用者数

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

○情報系専攻の大学等学生数(自然科学)

○データサイエンティスト人材の育成・確保の状況

○サイバーセキュリティ人材の育成・確保の状況

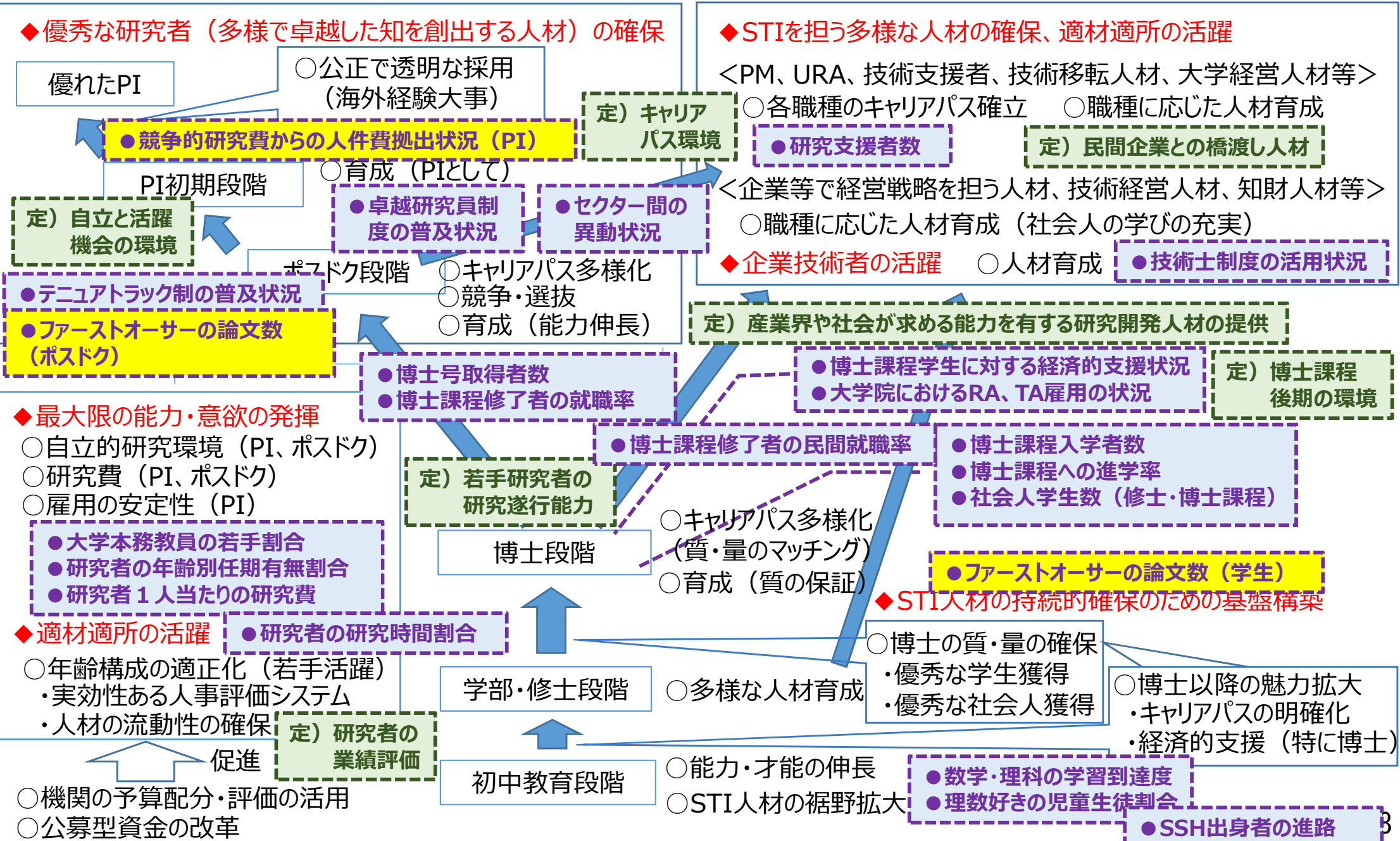
○IT関連企業のベンチャー起業数

俯瞰マップ 人材の育成確保・活躍促進

定 NISTEP定点調査

● 現状データなし

【目的】 科学技術イノベーションを支える人材個々の質の向上、最大限かつ適材適所での活躍



基本計画

(目標)

○40歳未満の大学本務教員の数を1割増加

(主要指標)

○任期無しポストの若手研究者割合

○児童生徒の数学・理科の学習到達度

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

○卓越研究員制度の普及状況

○テニユアトラック制の普及状況

○博士号取得者数

○博士課程修了者の就職率

○博士課程修了者の民間就職率

○セクター間の異動状況

○大学本務教員の若手割合

○研究者の年齢別任期有無割合

○研究者1人当たりの研究費

○研究者の研究時間割合

○博士課程学生に対する経済的支援状況

○大学院におけるRA、TA雇用の状況

○博士課程入学者数

○博士課程への進学率

○社会人学生数(修士・博士課程)

次ページに続く

基本計画

(目標)

○40歳未満の大学本務教員の数を1割増加

(主要指標)

○任期無しポストの若手研究者割合

○児童生徒の数学・理科の学習到達度

指標例(総合政策特別委員会)

○技術士制度の活用状況

○研究支援者数

○数学・理科の学習到達度

○理数好きの児童生徒割合

○SSH出身者の進路

NISTEP定点調査(意識調査)

定)博士課程後期の環境

定)若手研究者の研究遂行能力

定)キャリアパス環境

定)自立と活躍機会の環境

定)研究者の業績評価

定)産業界や社会が求める能力を有する研究開発人材の提供

定)民間企業との橋渡し人材

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

○ファーストオーサーの論文数(学生、ポスドク)

○競争的研究費からの人件費拠出状況(PI)

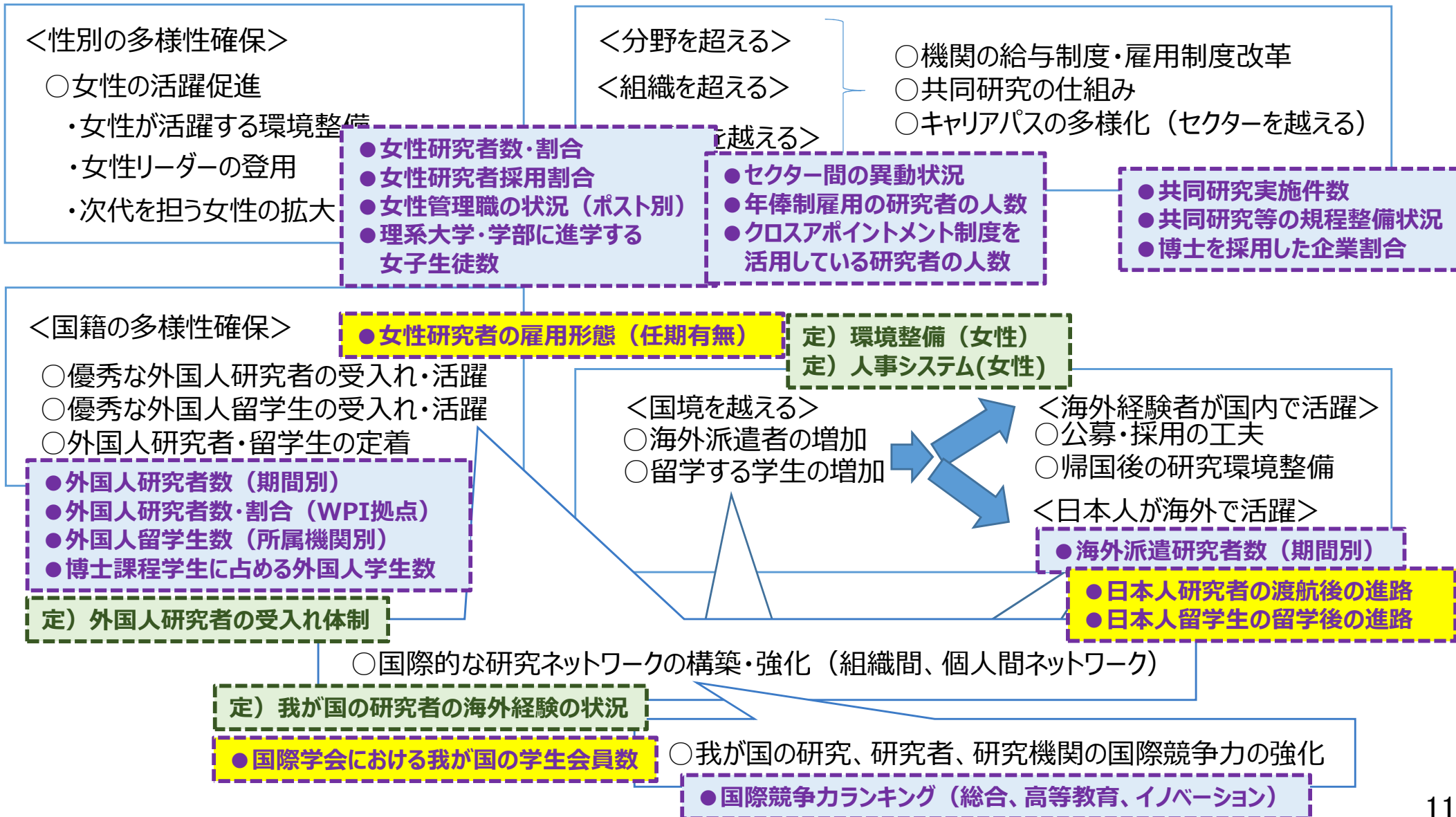
俯瞰マップ8 人材の多様化・流動化

定 NISTEP定点調査
● 現状データなし

【目的】 人材政策を通じた、新たな知識や価値、イノベーションが創出される可能性の拡大

◆人材の多様性の確保

◆人材の移動促進、あらゆる世代の人材の適材適所での活躍



基本計画

(目標)

○女性研究者採用割合3割

(主要指標)

○女性研究者採用割合

○大学に関する国際比較

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

○女性研究者数・割合

○女性研究者採用割合

○女性管理職の状況(ポスト別)

○理系大学・学部に進学する女子生徒数

○外国人研究者数(期間別)

○外国人研究者数・割合(WPI拠点)

○外国人留学生数(所属機関別)

○博士課程学生に占める外国人学生数

○セクター間の異動状況

○年俸制雇用の研究者の人数

○クロスアポイントメント制度を活用している研究者の人数

○共同研究実施件数

○共同研究等の規程整備状況

次ページに続く

基本計画

(目標)

○女性研究者採用割合3割

(主要指標)

○女性研究者採用割合

○大学に関する国際比較

指標例(総合政策特別委員会)

○博士を採用した企業割合

○海外派遣研究者数(期間別)

○国際競争力ランキング(総合、高等教育、イノベーション)

NISTEP定点調査(意識調査)

定)環境整備(女性)

定)人事システム(女性)

定)外国人研究者の受入れ体制

定)我が国の研究者の海外経験の状況

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

○女性研究者の雇用形態(任期有無)

○日本人研究者の渡航後の進路

○日本人留学生の留学後の進路

○国際学会における我が国の学生会員数

俯瞰マップ9 学術研究・基礎研究推進

定 NISTEP定点調査
● 現状データなし

【目的】 イノベーションの源である多様で卓越した知の創出

定) 研究時間確保の取組状況

内発的動機による学術研究

○挑戦性、総合性、融合性、国際性の観点からの改革・強化

● 研究者の研究時間割合

● 被引用回数トップ10%/トップ1%論文数及び総論文に占める割合
● 被引用回数トップ10%/トップ1%論文数の国際シェア

● 総論文数
● 総論文数の国際シェア

◆ 多様な知の創出
知の基盤の強化
(量的観点)

定) 基盤的経費の状況

● 科研費の新規採択率
● 科研費が関与した論文数
● 科研費における基金化の状況

定) 独創的な基礎研究の実施

● 研究者1人当たりの研究費(内発的動機に基づく)

<特に重視する研究の枠組み>

○学際的・分野融合的な研究
(「社会・自然の連携」を特に大事)

● サイエンスマップにおけるコア領域への参画領域数・割合
● 学際的・分野融合的領域の数

◆ 卓越した知の創出
知の基盤の強化
(質的観点)

※両者

戦略的・要請的な基礎研究

○客観的根拠に基づく戦略目標
○改革・強化(独創性・革新性重視)

定) 基礎研究の多様性

○国際共同研究(国際研究ネットワーク構築)

● 国際共著論文比率

定) 国際的に突出した成果
定) イノベーションへの貢献

定) 世界的な知のネットワークへの参画

<共同利用・共同研究体制の強化>

○大学共同利用機関の改革・強化
○共同利用・共同研究拠点の改革・強化

<拠点の形成・活用>

○世界トップレベル拠点の形成

● 大学共同利用機関及び共同利用・共同研究拠点における共同利用・共同研究の公募・採択件数

● 学術研究の大型プロジェクトにおける共同利用・共同研究の外国人研究者数

基本計画

(目標)

- 総論文数に占める被引用回数トップ10%論文数の割合10%

(主要指標)

- 論文数・被引用回数トップ1%論文数及びシェア

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

- 研究者の研究時間割合
- 科研費の新規採択率
- 科研費が関与した論文数
- 総論文数
- 総論文数の国際シェア
- 被引用回数トップ10%/トップ1%論文数の推移及び総論文に占める割合
- 被引用回数トップ10%/トップ1%論文数の国際シェア
- サイエンスマップにおけるコア領域への参画領域数・割合
- 学際的・分野融合的領域の数
- 国際共著論文比率
- 大学共同利用機関及び共同利用・共同研究拠点における共同利用・共同研究の公募・採択件数

次ページに続く

基本計画

(目標)

- 総論文数に占める被引用回数トップ10%論文数の割合10%

(主要指標)

- 論文数・被引用回数トップ1%論文数及びシェア

指標例(総合政策特別委員会)

- 学術研究の大型プロジェクトにおける共同利用・共同研究の外国人研究者数

NISTEP定点調査(意識調査)

- 定)研究時間確保の取組状況
- 定)基盤的経費の状況
- 定)独創的な基礎研究の実施
- 定)基礎研究の多様性
- 定)世界的な知のネットワークへの参画
- 定)国際的に突出した成果
- 定)イノベーションへの貢献

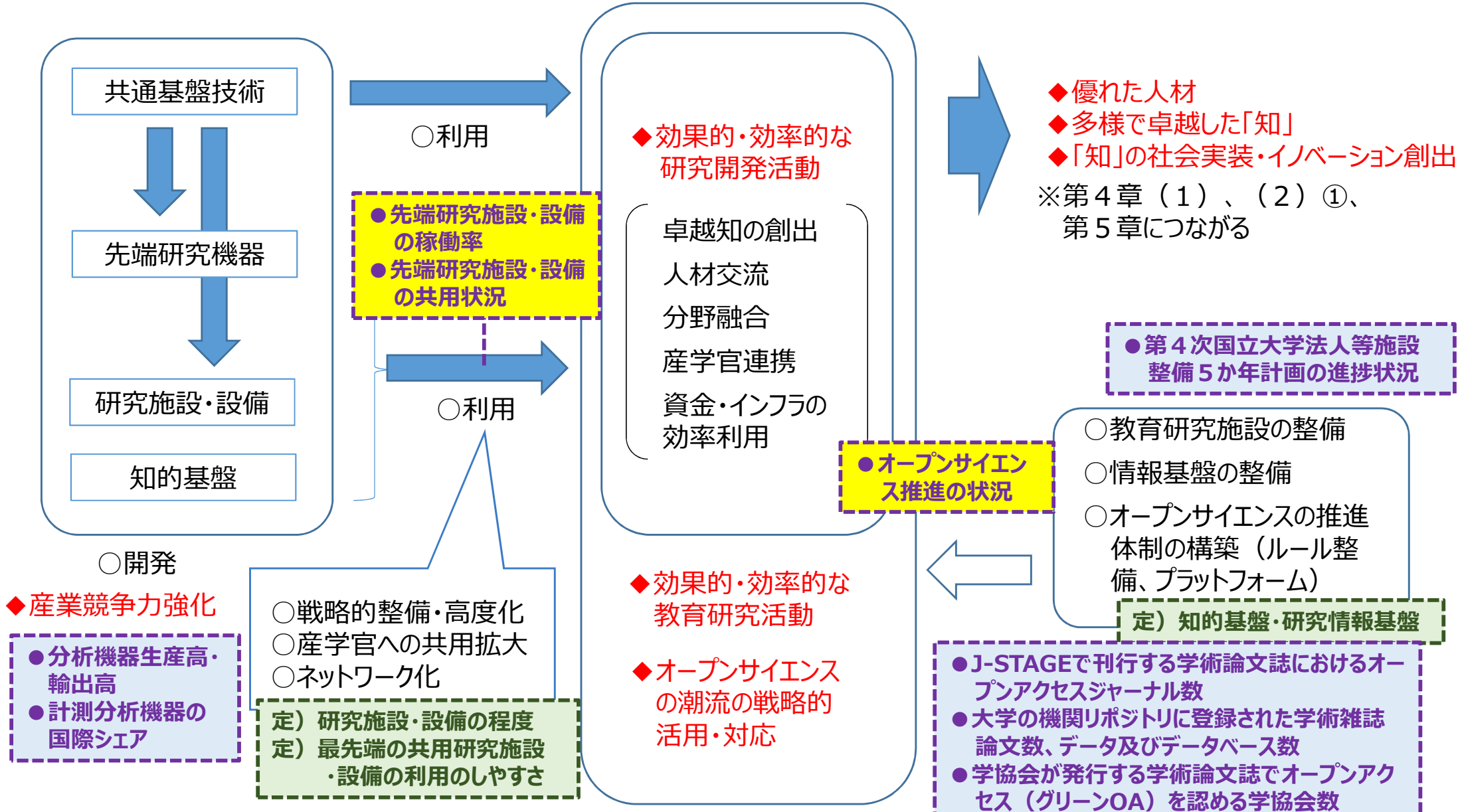
(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

- 研究者1人当たりの研究費(内在的動機に基づく)

俯瞰マップ10 研究基盤の強化

【目的】 研究基盤政策を通じた、科学技術イノベーション活動の効果的・効率的推進

定 NISTEP定点調査
 ● 現状データなし



基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

○なし

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

○分析機器生産高・輸出高

○計測分析機器の国際シェア

○第4次国立大学法人等施設整備5か年計画の進捗状況

○J-STAGEで刊行する学術論文誌におけるオープンアクセスジャーナル数

○大学の機関リポジトリに登録された学術雑誌論文数、データ及びデータベース数

○学協会が発行する学術論文誌でオープンアクセス(グリーンOA)を認める学協会数

NISTEP定点調査(意識調査)

定)研究施設・設備の程度

定)最先端の共用研究施設・設備の利用のしやすさ

定)知的基盤・研究情報基盤

次ページに続く

基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

○なし

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

○先端研究施設・設備の稼働率

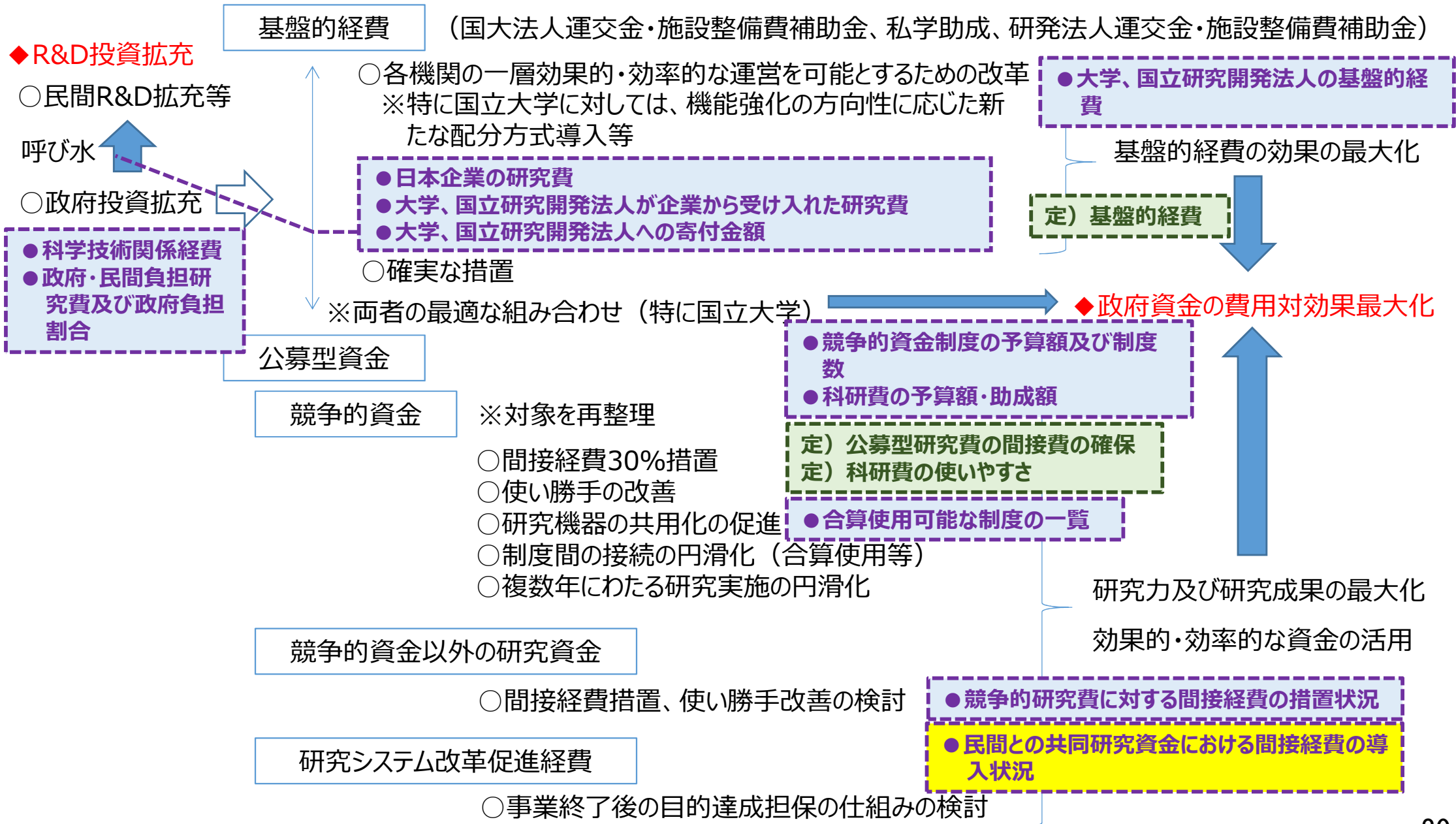
○先端研究施設・設備の共用状況

○オープンサイエンス推進の状況

俯瞰マップ11 資金改革

【目的】 政府資金の拡充と、その投資効果の最大化による、科学技術イノベーション活動の拡大

- 定 NISTEP定点調査
- 現状データなし



基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

○なし

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

○科学技術関係経費

○政府・民間負担研究費及び政府負担割合

○日本企業の研究費

○大学、国立研究開発法人が企業から受け入れた研究費

○大学、国立研究開発法人への寄付金額

○大学、国立研究開発法人の基盤的経費

○競争的資金制度の予算額及び制度数

○科研費の予算額・助成額

○合算使用可能な制度の一覧

○競争的研究費に対する間接経費の措置状況

次ページに続く

基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

○なし

指標例(総合政策特別委員会)

NISTEP定点調査(意識調査)

定)基盤的経費

定)公募型研究費の間接費の確保

定)科研費の使いやすさ

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

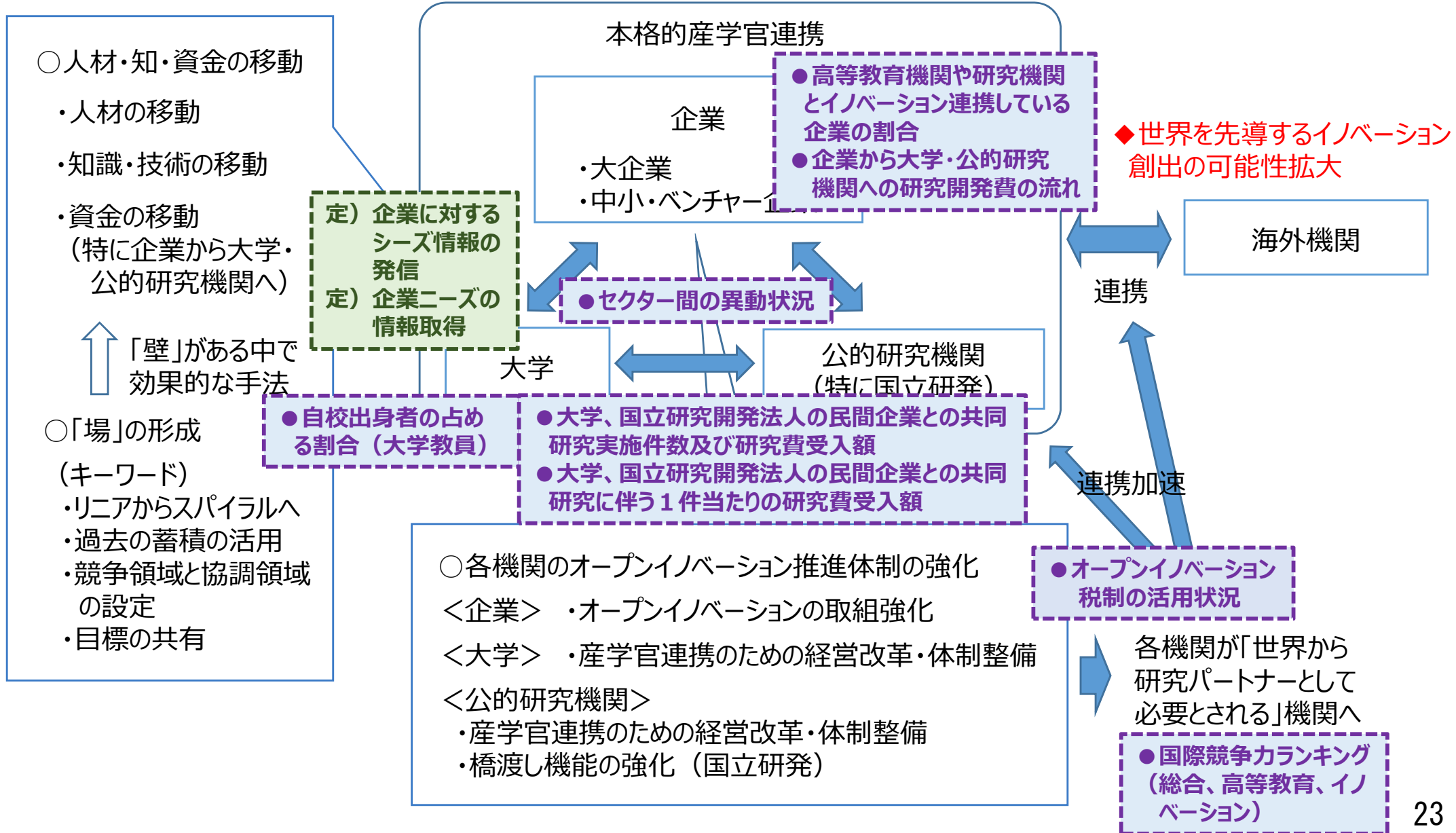
○民間との共同研究資金における間接経費の導入状況

俯瞰マップ12 オープンイノベーション推進

定 NISTEP定点調査

【目的】 国内外の産学官の「共創」の誘発により、世界を先導するイノベーションが創出される可能性の拡大

◆産学官の「共創」の機会の充実



基本計画

(目標)

- セクター間の研究者の移動数2割増
- 大学・国立研究開発法人の企業からの研究費受入額5割増

(主要指標)

- セクター間の研究者の移動数
- 大学・公的研究機関の企業からの研究費受入額
- 国際共同出願数

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

- 高等教育機関や研究機関とイノベーション連携している企業の割合
- 企業から大学・公的研究機関への研究開発費の流れ
- セクター間の異動状況
- 自校出身者の占める割合(大学教員)
- 大学、国立研究開発法人の民間企業との共同研究実施件数及び研究費受入額
- 大学等、国立研究開発法人の民間企業との共同研究に伴う1件当たりの研究費受入額
- オープンイノベーション税制の活用状況
- 国際競争力ランキング
(総合、高等教育、イノベーション)

次ページに続く

基本計画

(目標)

- セクター間の研究者の移動数2割増
- 大学・国立研究開発法人の企業からの研究費受入額5割増

(主要指標)

- セクター間の研究者の移動数
- 大学・公的研究機関の企業からの研究費受入額
- 国際共同出願数

指標例(総合政策特別委員会)

NISTEP定点調査(意識調査)

- 定)企業に対するシーズ情報の発信
- 定)企業ニーズの情報取得

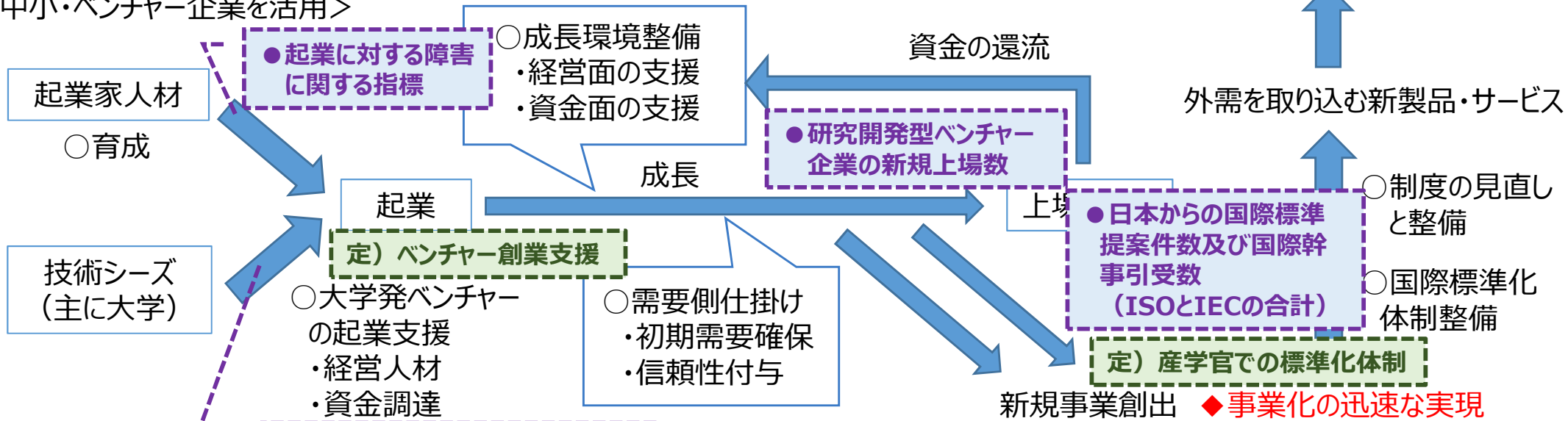
俯瞰マップ13 技術シーズの事業化

定 NISTEP定点調査
● 現状データなし

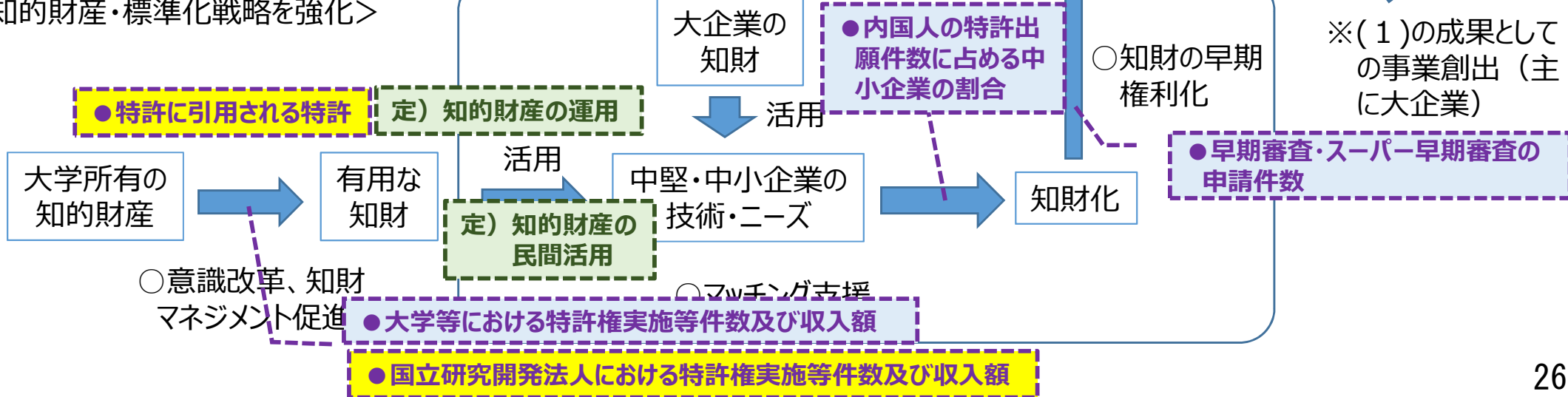
【目的】 技術シーズが速やかに事業化につながる可能性拡大、イノベーションの好循環の誘導

◆イノベーションの好循環の実現
 収益の基盤力への再投資

＜中小・ベンチャー企業を活用＞



＜知的財産・標準化戦略を強化＞



※(1)の成果としての事業創出 (主に大企業)

基本計画

(目標)

- 研究開発型ベンチャー企業の新規上場数(IPO等)を倍増
- 内国人の特許出願件数に占める中小企業の割合15%
- 大学の特許の実施許諾契約件数を5割増加

(主要指標)

- 研究開発型ベンチャーの出口戦略(IPO数等)
- 特許に引用される科学論文
- 先端技術製品に対する政府調達
- 大学・公的研究機関発のベンチャー企業数
- 中小企業による特許出願数

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

- 起業に対する障害に関する指標
- 大学等発ベンチャーの設立数
- ベンチャー投資額(対GDP比)
- 研究開発型ベンチャー企業の新規上場数
- 大学等における特許権実施等件数及び収入額
- 内国人の特許出願件数に占める中小企業の割合
- 早期審査・スーパー早期審査の申請件数
- 日本からの国際標準提案件数及び国際幹事引受数(ISOとIECの合計)

次ページに続く

基本計画

(目標)

- 研究開発型ベンチャー企業の新規上場数(IPO等)を倍増
- 内国人の特許出願件数に占める中小企業の割合15%
- 大学の特許の実施許諾契約件数を5割増加

(主要指標)

- 研究開発型ベンチャーの出口戦略(IPO数等)
- 特許に引用される科学論文
- 先端技術製品に対する政府調達
- 大学・公的研究機関発のベンチャー企業数
- 中小企業による特許出願数

指標例(総合政策特別委員会)

NISTEP定点調査(意識調査)

- 定)ベンチャー創業支援
- 定)知的財産の運用
- 定)知的財産の民間活用
- 定)産学官での標準化体制

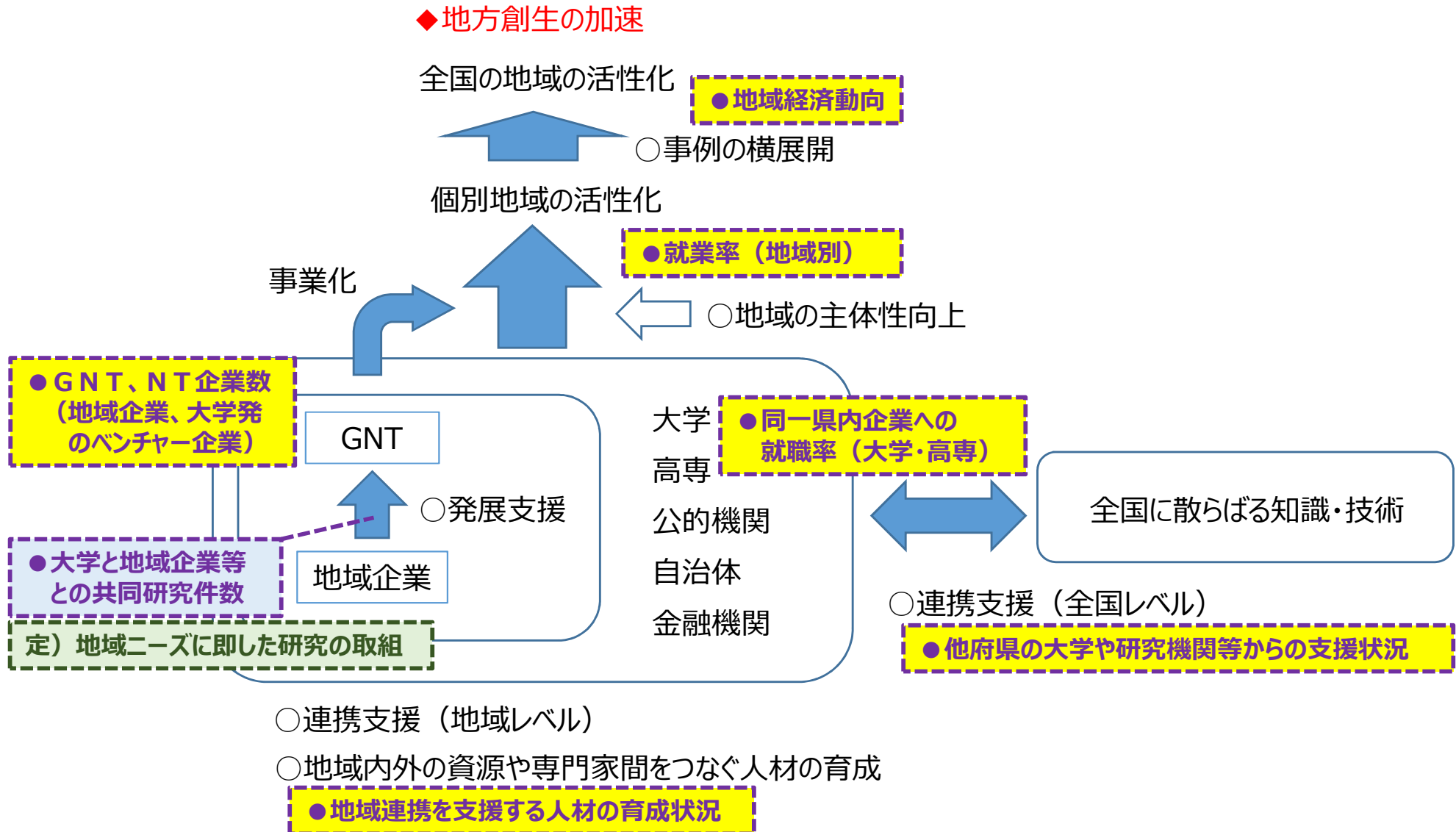
(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

- 特許に引用される特許
- 国立研究開発法人における特許権実施等件数及び収入額

俯瞰マップ14 地方創生

【目的】 地域における科学技術イノベーションシステムの改革を通じた、地方創生の加速

- 定 NISTEP定点調査
- 現状データなし



基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

○なし

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

○大学と地域の企業等との共同研究件数

NISTEP定点調査(意識調査)

定)地域ニーズに即した研究の取組

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

○地域連携を支援する人材の育成状況

○他府県の大学や研究機関等からの支援状況

○同一県内企業への就職率(大学・高専)

○GNT、NT企業数

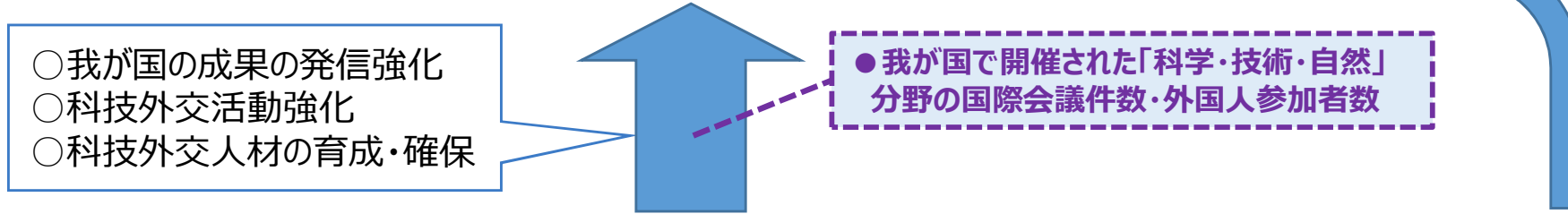
(地域企業、大学発のベンチャー企業)

○就業率(地域別)

○地域経済動向

【目的】 二国間・多国間の科学技術協力の改革を通じた、イノベーション創出機会の拡大と国際社会での我が国のリーダーシップ獲得

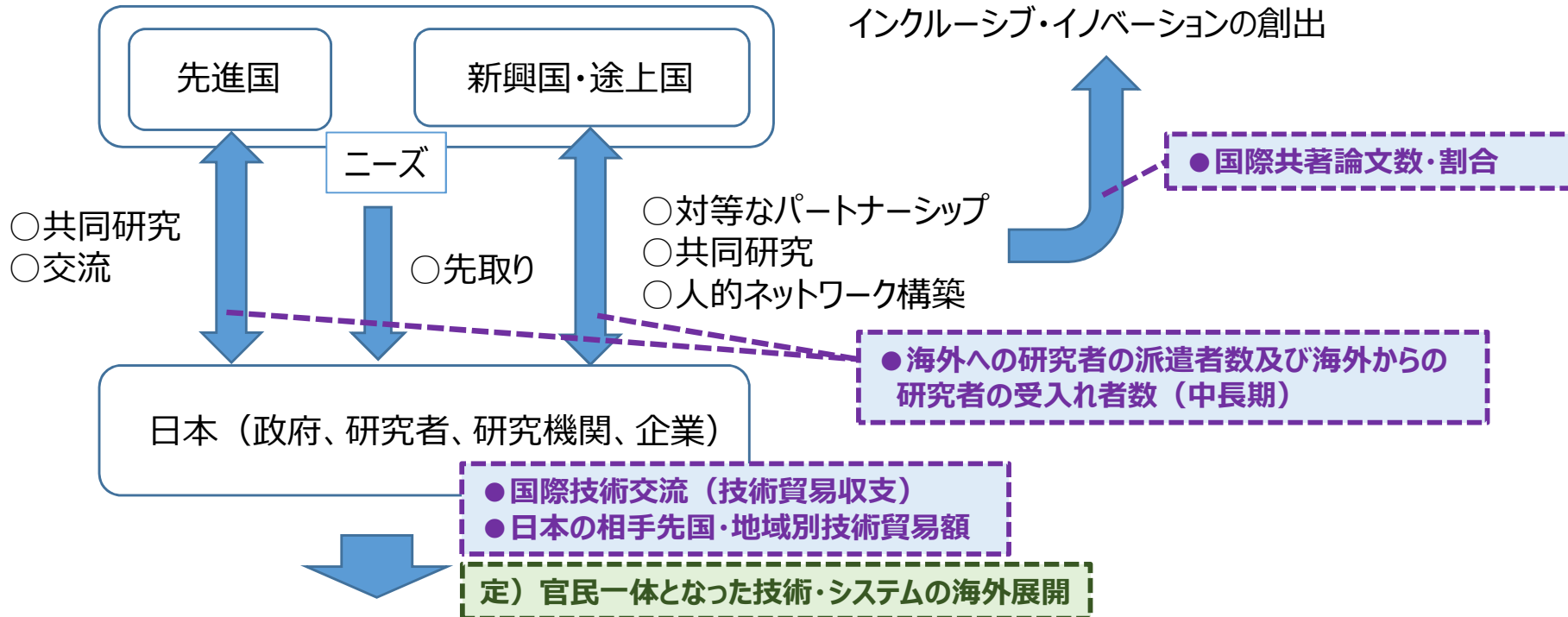
◆国際社会での我が国の存在感・信頼性向上



◆先進国との有益な関係構築

◆新興国・途上国との有益な関係構築

◆諸外国の課題解決



グローバルニーズを先取りした研究開発・ビジネスの拡大

◆世界を先導するイノベーション創出機会の拡大

基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

○技術貿易収支

指標例(総合政策特別委員会)

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得でき得るものを抽出)

○我が国で開催された「科学・技術・自然」分野の国際会議件数・外国人参加者数

○海外への研究者の派遣者数及び海外からの研究者の受入れ者数(中長期)

○国際技術交流(技術貿易収支)

○日本の相手先国・地域別技術貿易額

○国際共著論文数・割合

NISTEP定点調査(意識調査)

定)官民一体となった技術・システムの海外展開

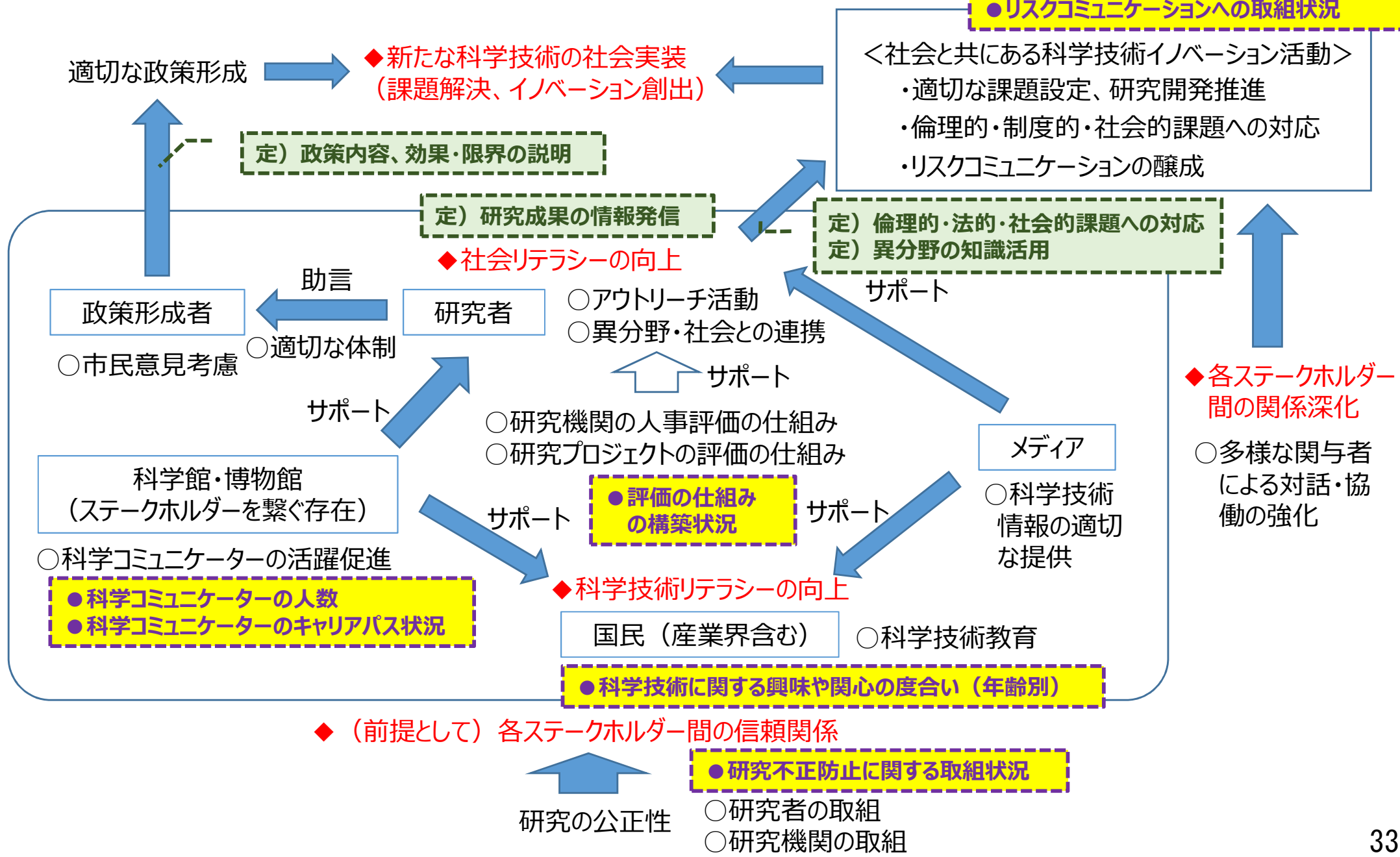
俯瞰マップ16 社会との関係深化

定 NISTEP定点調査

● 現状データなし

【目的】 科学技術イノベーションと社会との関係深化を通じた、イノベーション創出機会の拡大

● 倫理的・法的・社会的課題への取組状況
● リスクコミュニケーションへの取組状況



基本計画

(目標)

○なし

(主要指標)

○なし

指標例(総合政策特別委員会)

NISTEP定点調査(意識調査)

定)政策内容、効果・限界の説明

定)研究成果の情報発信

定)倫理的・法的・社会的課題への対応

定)異分野の知識活用

(重要と思われる指標のうち、現時点で定量かつ定期的に取得できていないものを抽出)

○科学技術に関する興味や関心の度合い
(年齢別)

○科学コミュニケーターの数

○科学コミュニケーターのキャリアパス状況

○評価の仕組みの構築状況

○倫理的・法的・社会的課題への取組状況

○リスクコミュニケーションへの取組状況

○研究不正防止に関する取組状況